

# いわた IWATA 市議会だより

平成22年

2010

8月15日発行

No. 27

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
編集／議会報編集委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845 (議会事務局)



## 三角縁神獸鏡 (青銅製) 磐田市所蔵

向笠竹之内にある新豊院山古墳群は、弥生時代から古墳時代にかけての墳墓群で、国の史跡に指定されています。この鏡は2号墳から刀や剣とともに出土したもので、中国製と考えられています。

邪馬台国の女王・卑弥呼が、中国からもらった鏡ではないかと言われ、古墳時代前期(約1600年前)の権力者のシンボルとされています。

## 6月定例会

平成22年6月定例会は、6月14日から7月6日までの23日間の会期で開催され、市長提出の一般会計補正予算や行財政改革推進審議会条例の制定など14議案について慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、議会推薦の農業委員会委員等を決定しました。

一般質問は、6月21日から23日の3日間にわたり15名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたずなました。

## 主な内容 (ページ)

- 一般質問 (15人) …… 2～7
- 審議結果一覧表、  
9月定例会の予定など …… 8

# 一般質問(要旨)

※一問一答方式：一つの質問ごとに答弁を求める質問方式。  
※総括質問方式：複数の質問を一括して行い、まとめて答弁を受ける質問方式。

今定例会より、議論の活性化と市民の皆さんにとつてわかりやすい議会とするため、一般質問の再質問以降において、一問一答方式を導入し、従来の※総括質問方式とどちらかを選択できるように改善しました。

## 市街地活性化とバイコロジータウン 障がい者雇用と生涯学習／行財政改革

新磐田 松野正比呂 議員 (総括質問)

### 市街地活性化

**質問** 磐田駅前の現状と今後の市街地づくりについて伺う。



磐田駅北口広場

**答弁** 現時点では新規事業の具体的計画はなく、また面整備など大規模な事業実施は難しい。北口広場は23年度から事業着手できるよう準備しており、交通結節点として機能を失わず、利用しやすくなるよう見直し作業を進めている。

**質問** バイコロジータウン推進事業について、経済視点を含めた今後の方針は。

**答弁** 補助金を活用し、観光ルートの設定と案内表示等の整備を計画している。これによりレンタサイクルを活用し、商業と観光の活性化に少しでも役立てたい。

### 障がい者雇用・生涯学習

**質問** 障がい者雇用の実態と課題、今後の対応と方向性は。

**答弁** 法定雇用率は1・8％で、21年度の県平均が1・65％に対し、磐田所管内は1・86％であり高い数値となっている。特性に合わせた就労支援が必要であり、関係機関が連携

## 図書館の個性化と連携 地域づくりと制度設計

新磐田 寺田辰蔵 議員 (総括質問)

### 図書館

**質問** 特色のある5館を1館に想定し、子供の夢をはぐくむ図書館経営の考え方は。

**答弁** 5館が地域にあり、存在価値があると思っている。それぞれの館の特色を生かし

し取り組む必要がある。市として出せる仕事はないか徹底して研究するよう指示した。  
**質問** 生涯学習の観点から、協働の理解促進に関する市当局の取り組み姿勢は。

### 行財政改革

**答弁** 今後も指導者の育成、各種講座、講演会の開催等を通して理解を深めていきたい。  
**質問** 行財政改革に取り組む基本姿勢は。

**答弁** 従来の概念や事業展開を根本的に見直し、将来にわたつて市民の生活を守っていくことができる健全な財政基盤を確立したいと考えている。事業の廃止等も含めた抜本的な見直しを複数年継続することにより、全事務事業の点検を進めていきたい。

た機能を一層研究したい。

### 地域づくり

**質問** 総合計画の基本理念である協働のまちづくりの現状や課題、達成度は。

**答弁** 市民活動センターの機能強化など実施してきた。21

年度の協働のまちづくり提案事業では、延べ3千人を超える市民の方に参加いただいた。市民への周知や職員意識の向上はまた道半ばであり、今後の課題と認識している。

**質問** 地域活動等への企業の参画や地域と企業との具体的な連携は。

**答弁** 現在54の企業がまち美化パートナー制度に登録し、清掃美化活動等をしていただいている。21年度は地元信用金庫と地域と行政が協働で、外国人のための日本語教室を開業するなどした。今後も企業の社会貢献活動にも、積極的に協力していきたい。

**質問** 地域住民に地域づくり

## 公共施設の管理運営 市の都市宣言

新磐田 加藤文重 議員 (総括質問)

### 公共施設

**質問** 指定管理者制度で管理運営を任せている公共施設は76施設あるが、料金設定がわかりづらいと感じる。市としての基準はあるのか。また、利用・使用料金の見直しは考えているか。

**答弁** 基本的に合併前の規定

を任せられる制度づくりと、地域の自主・自立を目指した一括交付金制度の考えは。

**答弁** 今後、地域主権型社会の実現を目指して地域の活動を支援し、地域自治の醸成を図りながら、一括交付金制度についても研究していきたい。  
**質問** 地域と行政のパイプ役等となるファシリテーターを養成する考えは。

**答弁** 地域づくりには、その養成が必要と思う。職員研修や協働事業へのかかわりの中でスキルを磨き、また地域でも人材が多く育つよう支援していきたい。



後実施される公共施設の見直しとあわせて、使用料の見直しも進めていければと考える。  
**質問** 市民からの要望はどのように吸い上げ、改善を図っているのか。

**答弁** 施設の所管課等でアンケート調査を毎年度実施している。すぐに対応できるものは対応し、時間や費用がかかるものは必要性等も考慮し、指定管理者と協議をしながら対応策を検討している。

都市宣言

**質問** 市では三つの都市宣言をしているが位置づけは。

**答弁** 本市が目指すべきまちな方向や理想を市民と共有し、



都市宣言塔

その姿勢を市の内外に簡潔な言葉で表明・発信していくものと考えており、実現に向け各種事業に取り組んでいる。  
**質問** 市長が想い描く「心と心の通い合うまち」とは。  
**答弁** 本市のあるべき姿として、住む人にはあたたかさを、来る人にはおもしろさを感じるまちづくりを目指しており、それを進めていくことが家族や地域、本市を訪れる方と市民が、心と心を通い合わせることにつながると考える。

安心・安全のまちづくり  
産業／行政事務関連

公明党 警田 小野 泰弘 議員（総括質問）

安心・安全

**質問** 動物の愛護及び管理に関する法律への市の対応は。

**答弁** 保護した犬を飼い主不明犬として保健所に引き渡さざるを得ない状況があり、引き続き飼い主のモラル向上に努める。

**質問** 携帯電話の市ホームページにAEDの設置状況、連

絡先を掲載する考えは。

**答弁** 市内AED設置状況を携帯サイトにも掲載していく。また、休館日等を確認し、休日、夜間に利用できる施設も掲載していくように検討する。



AED

**質問** 特別養護老人ホーム入

所申し込みの一元化の考えは。  
**答弁** 介護保険制度の施行以降、利用者の希望により自由・個別に行うこととされており、一元化は考えていない。申し込み等の実態については、これまで以上に状況把握に努めていきたい。  
**質問** 子育て支援サイトを拡充する考えは。  
**答弁** ネット上での対応は、

旧ふくで荘の跡地

東海・東南海・南海地震対策

五和会 八木正弘 議員（総括質問）

旧ふくで荘

**質問** 跡地利用に係る昨春秋以降の進展と今後の方向性は。

**答弁** 大手建設業者数社に対し行った民間ホテル誘致に関する意見聴取では、単独の宿泊施設としては、立地等の条件を欠くとの厳しい意見が大半であった。引き続き情報収集に努め、跡地利用の可能性を模索していきたい。

**質問** 跡地に残る展望台・アーチ型の橋等はどうするか。

**答弁** 危険防止対策と管理を徹底し、将来的には跡地活用等とあわせ検討していきたい。

子育て中の親子の不安解消策の一つであると思うが、現時点での拡充は考えていない。  
**産業**

**質問** 農業・漁業の総合産業化として6次産業化の考えは。

**答弁** 県でも6次産業化モデル創出支援事業を創設している。今後はそれらの事業の活用も含め、先進事例の研究をすることも関係機関と

地震対策

**質問** 三つの地震が連動発生した場合の被害想定は。

**答弁** 静岡県第3次地震被害想定による東海地震が突発的に発生した場合では、死者242人、家屋全壊5869棟となっており、連動発生した場合には、被害はさらに大きくなると予測している。

**質問** 自助自立体制づくりは。

**答弁** 公的施設5施設・民間団体等34団体・社会福祉施設25施設・民間事業所18社・防災協力事業所4社と災害時応援協定を締結し、地域支援を

連携して推進していきたい。  
**行政事務**

**質問** 総合評価入札について今後の見込みと見直しは。

**答弁** 工事は特殊な工種等を対象とし本数の拡大を、業務委託は新規導入を検討していく。また、評価項目等の見直しは県の基準に準拠するが、市内業者への下請を加算点の対象に加える等を考えている。

お願いしている。

**質問** 災害派遣の受入体制は。

**答弁** 自衛隊はかぶと塚公園など7カ所を、空路からは県立高校など14カ所を活動拠点として指定している。

**質問** 海上輸送として福田漁港や周辺の整備は。

**答弁** 県営漁港のため県により継続的に整備が進められている。袋井市側からの道路整備は、防災上の観点から必要と考え、県に要望していく。

**質問** 福田漁港に給水施設等を設置する考えは。

**答弁** 給水施設等は、設置されていない。非常時は豊浜配水場等から給水車で供給する。



### 安心安全なまちづくり 施設管理と指定管理の諸問題／健康福祉施策 日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員（一問一答）

#### 安心安全

**質問** 風力発電の苦情対応とメリット・デメリットは。

**答弁** 風車の風切り音に対し申し立てがあり、騒音調査を実施し風車の影響でないと思われることを説明した。メリットは、環境に優しい都市のシンボリック位置づけであること、デメリットは、多額の維持管理費がかかることである。

**質問** 道路整備等の自治会要望への予算化割合と今後は。

**答弁** 22年度の生活道路や側溝は19・8%、農道等は51・7%を予定し、今後は国の交付金や市直営で対応強化する。

**質問** 消防団員確保と消防協力金の課題は。

**答弁** 団員数の減少が続いているため、引き続き処遇改善や活動環境整備を図る。消防



協力金は、消防団・自治会と協議するよう働きかけたい。

#### 施設管理と指定管理

**質問** 体育施設の備品の修繕・買替等に係る責任は。

**答弁** 修繕見積額が50万円未

### 磐田市のあり方

争論 中村 薫 議員（一問一答）

#### 子供達にとって安全なまち

**質問** 学校での薬学講座の実施状況と今後の取り組みは。

**答弁** すべての小中学校において最低1回以上は、実施している。今後も啓発読本「薬物乱用はダメ、ゼツタイ」等を有効に活用することも、関係機関との連携を図り、各校が確実に開催するよう働きかけていきたい。



薬学講座

#### 農道

**質問** 農道を迂回路に使う一般車両への対策は。

**答弁** 公道であるため一般車両の通行制限はできない。しかし、単に抜け道として利用する車が多い場合には、地元自治会の意見を取り入れながら、通り抜けする一般車両の通行を抑制する看板を設置するなど交通安全対策を検討していきたい。

満の場合は、指定管理者が修繕し、買替等は、市の負担と責任において対応している。

**質問** 介護施設の今後の予定と待機者の現状は。

**答弁** 24年度の開設を目指し、特別養護老人ホーム・ケアハウス・小規模多機能型施設の事業者が、手続きを進めている。特別養護老人ホームへの

申込者数は22年1月現在で418人、昨年は361人で待機者は増えている。

**質問** 子宮頸がん予防ワクチンとヒブワクチン接種の市の対応は。

**答弁** 年々、定期予防接種の費用が増大しており、当面は見合わさざるを得ない。また、早期に定期予防接種化が実施されるよう国に要望している。

#### 障害者福祉

**質問** 障害者のしおりにある

いる。23年度に高齢者保健福祉計画の見直しを予定しており、必要な在宅福祉サービスの充実に努めていきたい。

制度の利用実績は。

**答弁** 市を窓口として実施している制度で利用実績のないものはない。今後も利用者の意見に耳を傾け、利用状況を把握し、利用の促進に努めていきたい。

#### 歴史を生かしたまち

**質問** 歴史文化遺産の保存は。

**答弁** 埋蔵文化財センターには、数十万点の有形文化財、歴史文書館には、7万7千点の有形文化財のほか2万4千点の民族文化財が保管されている。施設の収容能力から保管場所等の検討が、将来的には必要と考えている。



### 次世代育成の課題と推進 遠州豊田PA周辺土地区画整理事業

新磐田 川崎和子 議員（総括質問）

#### 次世代育成

**質問** 子ども手当支給対象者へのプレミアム付商品券発行は。また同意した給食費等の滞納世帯に子ども手当を現金支給し、納付相談する考えは。

**答弁** 今年度は新たな財源を必要とするプレミアム付商品券等の事業は、難しいと考え。給食費等滞納への対応は、

新たな子ども手当の制度内容を踏まえ検討していきたい。

**質問** 中学の部活動における個人負担の実態と対策は。

**答弁** 部活動によって差があるが、保護者の負担は少なくなく、部等でユニホームを所有するなど配慮に努める。

**質問** 小中学校の不登校の人数と子ども・親への対応は。

**【答弁】** 21年度は小学校48人、中学校147人であった。定期的な家庭連絡や訪問、スクールカウンセラーとの面談等、継続的にかかわり、学校復帰に向けた支援に努めている。

**【質問】** 教育支援センターあすなるの利用人数、不登校施策の評価及び今後の方針は。

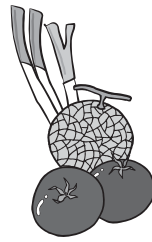
**【答弁】** 21年度の通級児童生徒は20人、家庭訪問の支援を受けた児童生徒は6人であった。あすなるの開設ほか相談員の配置等により成果を上げているが、不登校の要因・背景は複雑・多様化しており、医療・心理等の専門機関と連携

して未然防止等に努める。

### 遠州豊田PA周辺

**【質問】** ららぽーとの来客人数・売上高・地場産品の販売状況と雇用の総括は。

**【答弁】** 本年3月末までのレジ客数は860万人、売上高は175億円であった。地場産品は約200人の契約農家の農産物を販売した。雇用は工業部門で約30人、商業部門で約3千人の雇用創出があり、今後も新たな雇用が期待される。



## 農業問題の現実的課題／行財政改革 磐田市次世代育成支援行動計画

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員（総括質問）

### 農業問題

**【質問】** 市における茶の凍霜害の正確な実態把握と支援策は。

**【答弁】** 被害状況は、農協からデータをいただいている。支援策は、農協で実施する農業経営支援特別資金の基準金利1・1%に対して利子補給をする予定である。

**【質問】** 口蹄疫問題に対する市の対応は。

**【答弁】** 農協と合同実施の畜舎消毒剤購入費補助を継続する。

### 行財政改革

**【質問】** 公務・公共分野での非正規雇用の実態は。

**【答弁】** 22年4月1日現在、主たる職種では、一般事務が149人、幼稚園教諭が118人、保育士が94人である。

**【質問】** 今後の入札制度のあり方について伺う。

**【答弁】** 指名競争入札から一般競争入札へ移行した結果、予定価格に対する落札率が年々低下し、財政運営の面では効果は上がっていると考えるが、市内業者の育成や総合評価入札方式の拡大も視野に入れながら慎重に対処していきたい。

### 次世代育成

**【質問】** 保育園の待機児童対策について伺う。

**【答弁】** 定員数増の協議検討を進め、公立保育園の受け入れ園児数を増加させるため、フルタイム臨時保育士の確保等の対策を講ずる。また、特別養護老人ホームとの合築で、(仮称)中泉保育園の開園を24年度に予定している。



**【質問】** 放課後児童クラブの充実策と利用年齢の引き上げは。

**【答弁】** 充実策は、指導員の資質の向上のため、研修会への参加等を進めていく。また、大規模クラブはクラブ室を分けるなど、環境整備に努めたい。利用年齢の引き上げは、現状では難しい状況である。

## 外郭団体の指定管理者指定 フツ素洗口事業の見直し

五和会 岡 實 議員（総括質問）

### 外郭3団体

**【質問】** 指定管理者の指定等は。

**【答弁】** 23年度以降は、指定期間は5年ですべて非公募とし、28年4月からは公募にする。

振興公社は27年度末で解散し、とよおか採れたて元気むらと童洋環境創造は、今後、施設のあり方を検討し、早急に方針を決定したい。

**【質問】** 今回に至る経過は。

**【答弁】** 公の施設の管理を主たる業務として設立され一定の役割を果たしてきたが、指定管理者制度の趣旨からすると課題が多く、この度の方針決定となった。

**【質問】** 具体的な対応、進め方と職員の処遇は。

**【答弁】** 団体や関係機関と協議しながら手続を進めたい。また、再就職先のあるせん等は、できる範囲内で対応したい。

### フツ素洗口

**【質問】** フツ素洗口の歴史と実施状況は。

**【答弁】** 平成2年度から旧童洋町、15年度から旧福田町、16

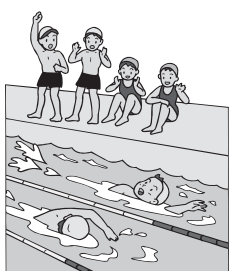
年度から旧磐田市、旧豊田町、17年度から旧豊岡村で実施された。20年度は保育園19園、幼稚園5園、小学校3校、中学校1校で行ってきた。県西部では、小学校は浜松5校、童洋地区3校、菊川2校で、中学校は童洋中のみである。

**【質問】** 実施の効果と評価は。

**【答弁】** 童洋地区では、虫歯罹患率は減少し、一定の成果を上げてきた。21年度の12歳児の虫歯本数調べでは、市の平均が0・86本、童洋地区が0・38本で、虫歯予防対策として効果がある。

**【質問】** 今後の方向性は。

**【答弁】** 学校でのフツ素洗口は取りやめ、従来からの健診等による予防に引き続き努め、他校と同様、歯磨きをしっかりと取り組ませたい。



# 安心・安全のまちづくりと 活力あるまちづくりに向けて

公明党 警田 鈴木喜文 議員（総括質問）

## 安心・安全

**質問** うつ病対策として、市立総合病院での認知行動療法の対応策を伺う。

**答弁** 19年1月より新規の患者受け入れをお断りしているが、常勤医師が確保できたときには、対応を検討する。直接相談が来れば、他院の案内はできるよう徹底したい。

**質問** 家畜伝染病口蹄疫が発生した場合の初動体制は。

**答弁** 市は、国・県による現地对策本部が実施する防疫等の対策に協力していく。

**質問** がん検診無料クーポン券による検診状況と、市内企業への協力要請の考えは。

**答弁** 昨年の受診率は、子宮頸がん25・4%、乳がん27・5%であった。市内企業へは、商工会等へ働きかけ、啓発ポスターの掲示等をお願いする予定である。

## 活力

**質問** 行動する職員集団構築のため、行動マニュアルを作成する考えは。



**答弁** 一律的なマニュアルを作成するのではなく、市民・現場・行動第一の考えにのっとり市民サービスの提供ができるよう取り組んでいくことで、市民から信頼される職員を育成していきたい。

## 教育行政の一元化 行財政改革に対する考え

五和会 八木邦雄 議員（総括質問）

## 教育

**質問** 学校教育も生涯学習の一部をなすという国の公式的見解にもかかわらず、学校教育が生涯学習と部局が別という現状をどう考えているか。

**答弁** 生涯学習大綱では、学校教育は生涯学習の基礎を培う場としての役割が重視され、学校での生涯学習をより活性化

**質問** 市民生活に影響の大きい補助金の中止や廃止は、最低1年先とする考えは。



学校での野菜づくり

**答弁** 遊休農地だけでなく、条件のよい農地を活用し、食と農の知恵とわざを学ぶ食農体験活動を各校で推進したいと思う。

**質問** 現組織体制の中で、生涯学習の意味を踏まえた現状をどう考えているか。

**答弁** 現在の体制を基本に考えているが、今後、組織の枠組みや所管する事務のあり方などについて検討したい。

**質問** 職員の役割をどう位置づけているか。

**答弁** 高いところから物が見られる職員がふえてほしい。

**質問** 遊休農地の活用で、県が示した1校1農園推進事業に対する考えは。

**答弁** 遊休農地だけでなく、条件のよい農地を活用し、食と農の知恵とわざを学ぶ食農体験活動を各校で推進したいと思う。

そういうことを醸成できるように努力していきたいと思う。

## 行財政改革

**質問** 22年3月の提言書「さらなる行財政改革の推進に向けて」を受けての行財政改革

## 教育の諸問題／地上デジタル放送への対応 磐田駅北口広場事業

日本共産党 警田市議団 高梨俊弘 議員（二問一答）

## 教育

**質問** 特別支援学級の拠点校化は問題と考えるがどうか。

**答弁** 多人数の中で社会性を養いながら学習させたいという県の方針による。課題は遠距離通学での安全確保や就学指導の難しさ等である。

**質問** 拠点校化による通学手段確保の考えを伺う。

大綱等の策定だと思うが、分析した総括と新たな課題は。  
**答弁** 一定の成果はあったものの、引き続き組織を挙げて行財政改革に取り組むことが必要と分析している。縮小、削減だけが行財政改革ではなく、社会経済状況が厳しいときであるので、発想の転換を図り、市民の生活を守るための改革などが今後取り組むべき新たな課題であると考える。  
**質問** 行政として何をしなければならぬと考えるか。  
**答弁** 提言書には、行政サービス範囲の明確化等がある。22年度は原点に戻り、行政の役割を見直す年度に充てたい。  
**質問** 交通機関の利用または保護者送迎をまず考え、さらに市でも考えなければならぬことがあるか探っているか。  
**答弁** 拠点校化を今後保護者へどのように知らせるのか。  
**答弁** 8月末に拠点校が決定する予定であり、速やかに幼稚園や学校に通知することも、市民に広報していく。

**【質問】** 言語通級指導教室や学習障害（LD）等通級指導教室の現状と充実策は。

**【答弁】** 言語通級指導教室は2校、LD等通級指導教室は1校で開設されている。今後教室を増やし、教員を充実できるように県に要望していく。



**【質問】** 公共施設への工事等の発注状況は。

**【答弁】** 地デジチューナーの取り付け等を予算化、実施している。

### 市の横断的取り組みの具体策 トータルで安心できる保健・医療・介護

新磐田 玉田文江 議員（二問一答）

**【質問】** 言語通級指導教室は2校、LD等通級指導教室は1校で開設されている。今後教室を増やし、教員を充実できるように県に要望していく。

**【答弁】** 今年度末までに事業認可を受け、23年度から用地買収等を行い、27年度末の事業完了を予定している。課題は現在の施設を使用しながらの事業になるので、権利者等への情報提供等、関係機関との十分な打ち合わせが不可欠である。広場のレイアウトは、駅利用者等の声を参考に見直し作業を進めている。

**【質問】** 今後の日程と課題、事業計画の見直し等を伺う。

**【答弁】** 今年度末までに事業認可を受け、23年度から用地買収等を行い、27年度末の事業完了を予定している。課題は現在の施設を使用しながらの事業になるので、権利者等への情報提供等、関係機関との十分な打ち合わせが不可欠である。広場のレイアウトは、駅利用者等の声を参考に見直し作業を進めている。

**【質問】** 訪問医療や訪問看護の現状と課題、計画を伺う。

**【答弁】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 妊婦健診の公費補助に  
関し、23年度以降の計画は。

**【答弁】** 21年度から、それまで5回だった公費助成を14回とした。追加された分の財源は国庫補助金等で、22年度までの期間限定となっている。母子保健は、多様な事業実施や医療、福祉にも重点を置かなければならない等の厳しい状況下にある。広域的な状況を踏まえる中で、今後も国の動向を注視していきたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

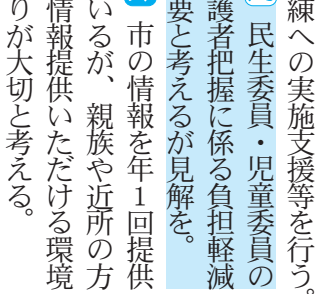
**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。

**【質問】** 訪問診療を行っている診療所は40施設で全体の43・5%、訪問看護ステーションは2施設となっている。課題は、医療機関及び人材の確保、関係機関の連携などである。急性期、回復期を担う病院と在宅医療を担う医療機関との連携が密となるよう働きかけ、切れ目ない安心できる医療・介護体制の構築に努めたい。



## 9月定例会の予定

—9月7日～10月8日（32日間）—

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

- 9月7日 本会議（議案の上程）
  - 8日 本会議（議案の上程）  
常任委員会
  - 9日 常任委員会（審査予備日）
  - 14日 本会議（先議議案の採決）
  - 15日 本会議（一般質問）
  - 16日 本会議（一般質問）
  - 17日 本会議（一般質問）
  - 21日 本会議（一般質問予備日）
  - 22日 本会議（議案に対する質疑）
  - 24日 本会議（議案に対する質疑）
  - 27日 特別委員会
  - 28日 特別委員会
  - 29日 特別委員会（審査予備日）
  - 30日 常任委員会
  - 10月1日 常任委員会
  - 4日 常任委員会（審査予備日）
  - 8日 本会議（議案の採決）
- ※いずれも午前10時から

## 図書館・市議会ホームページ等で 会議録をご覧になれます

市議会だよりの掲載内容は、本会議の要約になりますので、審議内容や各議員の質問・市の回答など、詳細をお知りになりたい方は、各図書館や市政情報コーナー（市役所本庁舎2階）等にある会議録または市議会のホームページをご覧ください。なお、ホームページでは、本会議のほか委員会の会議録もご覧になれます。



▲市政情報コーナー

### 本会議と委員会

全議員で構成する会議を本会議といいます。ここでは、議案の採決により最終的な意思決定がなされますが、より専門的・能率的に審査するため、委員会を設け本会議に提案された議案などを分担して審査します。その経過と結果を本会議で報告のうえ、採決を行っています。

なお、委員会には常任委員会（総務・民生病院・文教・建設産業）、特別委員会（予算・決算）、議会運営委員会があります。

## 審議結果一覧表

■本定例会に上程された議案はすべて、**全会一致**により**可決・同意**されました。

- (1) 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- (2) 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- (3) 22年度一般会計補正予算(第1号)
- (4) 行財政改革推進審議会条例の制定
- (5) 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正
- (6) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (7) 職員退職手当支給条例の一部改正
- (8) 火災予防条例の一部改正
- (9) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- (10) 市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部改正
- (11) 静岡地方税滞納整理機構を組織する地方公共団体の数の減少
- (12) 静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少
- (13) 22年度公共下水道事業沼原川雨水幹線管渠新設工事請負契約の締結
- (14) 人権擁護委員の候補者推薦の意見

■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 農業委員会委員の推薦
- (2) 閉会中の継続調査
- (3) 市議会議員の派遣

議会推薦の農業委員

鈴木 啓文

## 行財政改革特別委員会を設置

7月6日、市議会では、市が今後策定する行財政改革大綱等に関して意見を述べるため、行財政改革特別委員会を設置しました。

当委員会の活動内容等については、今後、市議会だよりを通じて報告していきます。

委員9人（◎委員長 ○副委員長）

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎小木 秀市 | ○川崎 和子 |
| 加藤 文重  | 八木 邦雄  |
| 野崎 正藏  | 鈴木 喜文  |
| 根津 康広  | 鈴木 昭二  |
| 川村 孝好  |        |